



7月の連休に揚がった鯉のぼりたち。のんびりとおしゃべりをしながらみんなそれぞれのスタイルで眺めていました。



おかのうえ公園と隣接するマンションを繋ぐ階段がまもなく完成します。この階段は、見晴らし台になっていて、新宿副都心の景色を眺めることができます！

公園に絵を描いたりラインを引いたりした、とちまるパーク！遊び方は自由です。秋にもまた登場する予定！カラフルな旗が目印です。

おかのうえアートウィーク(仮)のお知らせ

この秋には隣接マンションの入居も始まります。おかのうえ公園では新しくこのまちに住む人々へのウェルカムイベントとして、おかのうえアートウィーク(仮称)の開催を予定しています。音楽の演奏や作品の展示などゆるやかなアートイベントです。参加、ご興味のある方はおかのうえデスクまでお知らせください。TEL:03-3364-6795

お知らせ

中野 Lovers ウォーク

①ウォークラリー＆フォトコンテスト
2020年10月1日(木)～31日(土)
②まちの仲間ファイナルイベント
2020年12月13日(日)13時30分～
なかのゼロ小ホール
中野区町会連合会 03-3228-8213

あとリエふぁんとむ
ミニ地域交流講演会

「聞こう！話そう！ひがしなかの
～誰もが住みやすい街ってどんな街？」
2020年10月31日(土)13時30分～
会場：東中野区民活動センター
あとリエふぁんとむ
03-3360-3517

第7回中野区検定

2020年12月6日(日)
主催・問い合わせ先
公益財団法人 中野区教育振興会 中井
TEL 3228-5544
FAX 3385-9319
メール bz720662@bz03.plala.or.jp

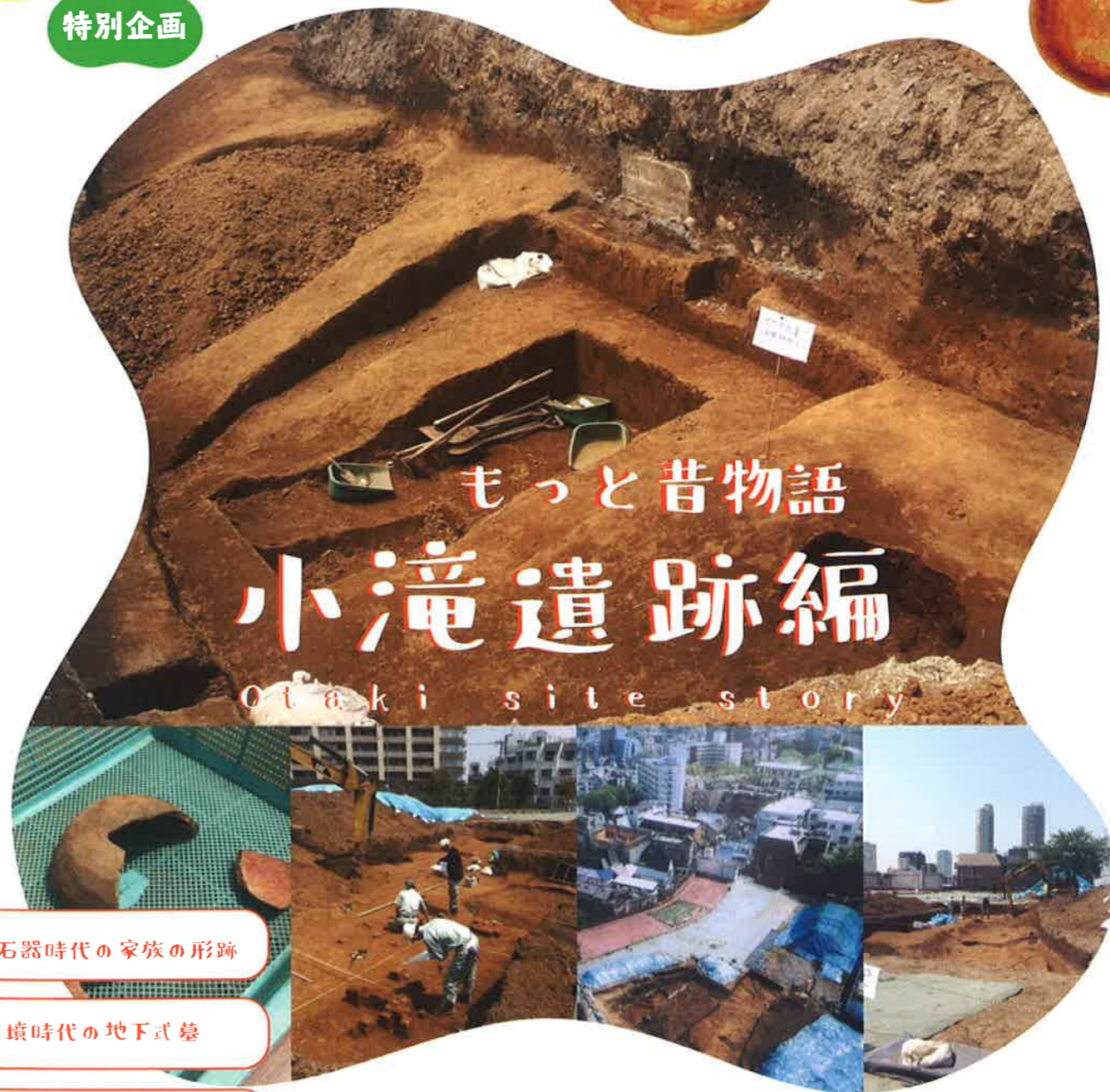


TEL:03-3364-6795
FAX:03-3364-6796
mail:nakano_higashi@jewel.ocn.ne.jp

東中野今昔物語

特別企画

出土にドキッ！



もっと昔物語
小滝遺跡編

Otake site story

旧石器時代の家族の形跡

古墳時代の地下式墓

奈良時代の竪穴住居

江戸時代の溝

東中野にある高台、通称小滝台で、旧石器・古墳・奈良・近世以降の各時代の遺跡が発見されたことをご存知でしょうか。今回の地域ニュース55号では、平成29年4月に行われた埋蔵文化財発掘調査見学会の様子と調査担当者の方のガイドを元に小滝遺跡の紹介をしていきたいと思います。

ひがしのマイスポット情報

子育て 陽だまりの丘保育園 tel 5331-6767
オンライン 出産前体験学習 & 園見学 10/20(火)
未就園のお子さんとそのご家族
オンライン 体験保育 & 園見学会 10/7(水) 10/14(水) 10/23(金)
各回 10:30～11:00 10組まで
※ブログにアクセスしていただき、グーグルフォームからの申し込みが必要となります。

シニア まちなかサロン いろいろ
tel 5380-0753 中野区社会福祉協議会 ほほえみサービス 池本
10/5(月)遊びましょ!折り紙・輪投げ
10/19(月)感染予防と健康な生活
11/2(月)簡単マジック教室
11/16(月)ビンゴ・ゲーム大会

キッズ とちまるランド 小学生の居場所づくり
tel 3364-6677 プチまる new
子育て 乳幼児親子のくつろぎスペース
※詳しい内容は掲示板・ホームページをみてください。
プチまる 10/14(水) 10:00～12:00 東中野区民活動センター・多目的室
とちまるランド 時間もあることだし
とちまるパーク お花とあそび パペット手人形をつくる
10/7(水) 10/14・21(水) 10/28(水)

遺跡見学の様子は動画でも見られます!



特別企画

もっと昔物語

小滝遺跡編

Olaki site story

発掘調査

中野区東中野五丁目 27 番

平成 29 年 4 月 6 日～平成 29 年 5 月 9 日まで実施



平成 29 年 4 月 29 日
埋蔵文化財発掘調査見学会
今から 12000 年前の深さまで発掘された地面からは縄文時代、弥生時代、古墳時代、現代までの断面を見ることができました。

古墳時代の地下式墓



地下式墓から出土した杯。

発掘調査が行われた頃の
小滝台の様子。
東中野小学校の
校庭の面影が
残っています。

奈良時代の竪穴住居



人々は、壁面に竈(かまど)を作ってご飯を炊くことを始めています。木を立てて加工し、いろいろな編んだものをひいて地面がむき出しにならないように工夫しています。地面から 60、70 センチくらいくぼめたところに床をつくり、半地下にすると夏涼しく、冬暖かく熱効率がとても良く、縄文時代からずっとしていた工夫です。鎌倉時代の初等までこのような住み方をしていたようです。

旧石器時代の家族の形跡



旧石器時代の通称赤土の中に石が固まって出てきている様子。この辺りでは石が取れないことから人間が集めたものであると考えられます。最初は肉を焼いたり、かまどの役割をしていて、そのあとは暖房の役割をしていたことが石の塊でわかります。つまり短期間であるけれども人が住んでいた場所だといえるでしょう。

旧石器時代、中野区のこの辺りの森も今と様子がまるっきり違っていたことが分かっています。富士山の噴火の影響で、四六時中曇り空の日々が何万年も続いていました。とても寒い状態で杉、松、針葉樹ばかり生え、栗、くるみなど人間が食べられる植物はなく、人口を増やすには難しい状況でした。見えない塵が降り積もっていて、だいたい 5 万年くらいのあいだに 2、3m くらい積もっていたでしょう。それを呼吸しながらではなかなか長生きはできません。人の平均寿命としては 20 歳くらいだったのではとされています。
縄文時代に入ると 30 歳まで生きれば長生き。40 歳は長老。50 歳まで生きたら王様レベルと言われるほど、今と比べて随分寿命は短かったようです。

学芸員
さん
のお話

江戸時代の溝



出土した寛永通宝や焼き物から、江戸時代に作られた溝だとわかります。

將軍様が鷹狩りに来的时候に寄られた中山の御立場があった場所。その敷地を区画するための溝である可能性が高いです。写真の溝は深さが 1m 弱ですが、当時の地層面はもっと上なので、もっとしっかりとした溝だと考えられます。

発見された小さいお墓と大きいお墓。小さいお墓にはおそらく子供が葬られたと思われます。

